

令和2年度 学習指導方針(スクールポリシー)

石川県立寺井高等学校

【本校において目指す生徒像】(育む資質・能力、身に付けたい力など含む)

- ① 自らの可能性を伸ばすために主体的に学習し、努力を継続していく生徒。
- ② あいさつや身だしなみなど、社会人としての基礎力を備えたたくましい生徒。
- ③ 地域の担い手として仲間と協働し、他者を思いやることができる心豊かな生徒。

【学習指導方針(スクールポリシー)】

(1)主体的、対話的で深い学びを育むための授業実践を通して、生徒一人ひとりが受け身から脱却するとともに自立した学習者となるよう粘り強く学習を継続できるようにする。

アクティブラーニング型の授業を展開し、生徒の思考力・判断力・表現力等を育成する。また、基礎的、基本的な知識・技能の習得を基にして、学びを今後の人生や社会生活に活かそうとする態度を養う。

(2)授業規律の確立、学習環境の整備等を通して、礼儀や身だしなみ、人に感謝する心、公共心等を育み、社会人としての基礎力を育成する。

授業開始・終了時にしっかりとあいさつすること、課題の提出期限を守ること、清掃を徹底し学習する環境を整えることなど、基本的な生活習慣の確立を学校全体で意識して取り組む。

(3)地域の人的・物的教育資源を活用しながら、将来を見据えたキャリア教育を展開し、地域を愛し、地域から愛される人財を育成する。

全ての教育活動を通して、生徒一人ひとりに「行き先(どこに進学・就職するのか)」から「生き先(どう生きるための進学・就職なのか)」へと繋がるキャリア教育を実践する。また、地域と連携し実社会で生徒が自分の力を試す機会を設けることにより、生徒に達成感を与え自己肯定感を育む。